

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2020-138059(P2020-138059A)

【公開日】令和2年9月3日(2020.9.3)

【年通号数】公開・登録公報2020-036

【出願番号】特願2020-99003(P2020-99003)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月12日(2021.5.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ホール関係者が設定可能な複数段階の甲値に関する選択操作が可能な甲操作手段と、遊技者が設定可能な複数段階の乙値に関する選択操作が可能な乙操作手段と、前記甲操作手段により得られた前記甲値及び前記乙操作手段により得られた前記乙値に基づいて遊技音量を設定可能な遊技音量設定手段とを備えた遊技機であって、前記甲操作手段は、操作後位置を保持可能に構成され、当該甲操作手段の位置から現在選択されている前記甲値を把握可能であり、前記乙操作手段は、操作後位置を保持不能に構成され、当該乙操作手段の位置からは現在選択されている前記乙値を把握可能ではなく、電源投入後に、現在選択されている前記甲値の情報を取得し、当該甲値に関する情報を現在情報として記憶する現在情報記憶手段と、前記甲値が変更された場合には、その変更後の前記甲値の情報により前記現在情報の内容を更新する現在情報更新手段と、を有し、前記甲操作手段により第1甲値が選択され且つ前記乙操作手段により選択可能な乙値の最大値が選択された場合における前記遊技音量は、前記甲操作手段により第2甲値が選択され且つ前記乙操作手段により選択可能な乙値の最大値が選択された場合における前記遊技音量よりも小さい、ことを特徴とする遊技機。